

地 社会を明るくする運動
地域の支えで明るい町づくり

犯罪や非行をした人の立ち直りを支える地域の保護司11人が「社会を明るくする運動」を町内に呼びかけました。7月16日に行われたこの運動は、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な活動です。保護司は立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくこと、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりの大切さを住民に訴えました。



↑ 町内を回り啓発チラシ300セットを配布、住民に理解と協力を呼びかけました。

↓ 小さな陶芸家たちが集まった作陶会場、友達の作品の出来映えも気になります。



郷 上野焼子ども作陶教室
土の伝統工芸ゆかりの自信作

7月11日に中央公民館で「上野焼子ども作陶教室」が開かれました。例年応募が定員を超え、多くがキャンセル待ちとなる町子育連主催の人気の催しに、70人の小中学生が参加。子どもたちは上野焼協同組合の窯元から熱心な手ほどきを受けながら、手びねりによる成形で、カップや皿など、それぞれが自分らしさを反映した魅力的な作品を形づくりしました。

町 観光PR音頭「福智温泉」完成
の温泉の魅力を歌った「福智温泉」

合併を機に制作された「福知音頭」から4年、今回、その第2弾である「福智温泉」が完成しました。曲は3番まであり、町の温泉施設「白糸の湯」「ふじ湯の里」「日王の湯」の魅力が歌詞に盛り込まれています。前作と違い、一曲すべてが藤かおりさんの美声で歌われ、中山芳龍先生が振り付けを担当。8月28日の「水と灯火の夕べ」で初披露される予定です。



↑ 「福智温泉」のCDとテープ。今後、町内のイベントや盆踊りに取り入れられます。

↓ 境内に設置された茅の輪は直径約2メートル。健康を願いながらくぐりました。



茅 岩屋神社大夏越祭
の輪くぐり無病息災祈る

7月26日に岩屋神社(弁城)境内で大夏越祭が行われ、約100人の地域住民が参加しました。巫女舞や方城和太鼓クラブの演奏が奉納された後、メインの茅の輪神事では、茅の葉で作られた輪を宮司に続き参拝者が3度くぐり、身体健康・家内安全を祈念。全国的な猛暑が続くと予想されるこの夏を、自身や家族が健康に過ごせるよう願っていました。

↓ 地域交流センターのステージに華やかな衣装で登場し、教育や生き方について語ったIKKOさん。



夢 福智町PTA連合会 教育講演会
をテーマにIKKOさん講演

テレビや舞台のほか執筆、音楽活動など多方面で大活躍中の「美のカリスマ」IKKOさん(伊方出身)が、6月21日に福智町に帰ってきました。PTA連合会主催の教育講演会に講師として招かれたIKKOさんは、保護者からの質問に答えるスタイルで、自らの経験談を交えながら講演。「たとえ“自分の決めた道”を否定されても、それをプラスに変えていく力が必要。逆境や困難が自分を成長させてくれる」といったIKKOさんの言葉一つひとつに、会場の406人は目頭を熱くさせながら聴き入っていました。

人 7月は同和問題啓発強調月間
権尊重を住民に呼びかけ

福岡県と県内市町村が取り組む「同和問題啓発強調月間」の一環として、7月1日に町内5か所での街頭啓発や企業訪問が行われました。街頭啓発では、町長をはじめ職員23人が一人ひとりに啓発チラシとタオルを配布。この取り組みによって、一人でも多くのかたの人権意識が向上され、住民と行政が力を合わせて同和問題を解決することを目指しています。



↑ 一日でも早い同和問題解決を願って、積極的に啓発活動に取り組む町長と職員。

↓ みんなで教えあい協力して作った紙ひこうきは、気持ちのこもった遊び道具です。



も 児童センター「紙ひこうき大会」
ものづくりを肌で感じる子どもたち

7月4日に親子で楽しむ「紙ひこうき大会」が、児童センターで行われました。永末宏之さん(弁城)が参加者32人に3種類の紙ひこうきの折り方を丁寧に指導。子どもたちは、一枚の紙が見たこともない形に変わっていく姿に驚き、さまざまな飛びかたをする姿に感動。今では触れる機会が少なくなった“昔の遊び”の魅力伝える良い機会となりました。